

フィロソフィック・インベストメント・トラストー  
**ウイントン・パフォーマンス連動  
満期時元本確保型ファンド2  
(豪ドル建)**

## 償還交付運用報告書

作成対象期間 第10期  
(2017年8月1日～2018年8月9日(終了日))

### その他記載事項

償還運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<http://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

ファンドの償還運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

**ムーア・マネジメント  
(バーミューダ)リミテッド**

代行協会員

**三菱UFJモルガン・スタンレー  
証券株式会社**

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、フィロソフィック・インベストメント・トラストーウイントン・パフォーマンス連動満期時元本確保型ファンド2(豪ドル建)(以下「ファンド」といいます。)は、2018年8月9日に終了しました。

ファンドの投資目的は、最終買戻日(2018年7月2日をいいます。以下同じです。)における受益証券一口当たり純資産価格が募集価格以上となることを確保しつつ、中期的にキャピタル・ゲインを追求することであり、これに沿った運用を行ってまいりました。ここに、最終計算期間である第10期の運用状況をご報告申し上げます。

ご愛顧を賜り誠に有難うございました。

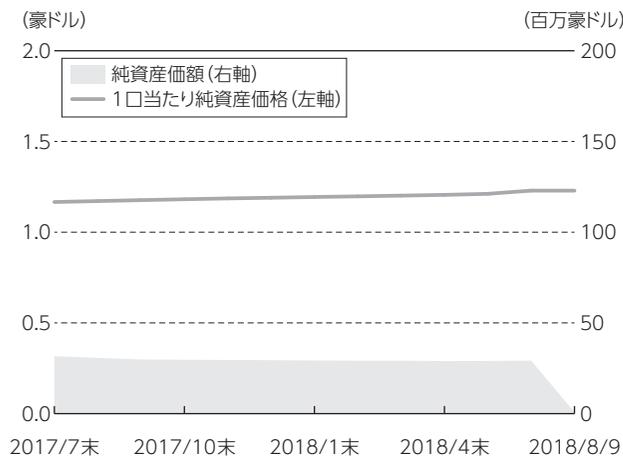
第10期末	
1口当たり償還価格	1.2290豪ドル
純資産価額	762,035.12豪ドル
第10期	
騰落率	5.38%
1口当たり分配金合計額	該当事項はありません。

(注1)第10期末の純資産価額は、償還金として受益者のみなさまにお支払いする金額の負債計上前の数値であり、かかる金額を負債計上して算出されている財務書類の数値とは異なります。また、1口当たり償還価格は、上記の第10期末の純資産価額に基づき計算されているため、財務書類に記載された1口当たり純資産価格とは異なります。以下同じです。

(注2)騰落率は、受益証券1口当たり純資産価格に基づき計算しています。なお、第10期の騰落率は、第9期末の1口当たり純資産価格および1口当たり償還価格に基づき計算しています。以下同じです。

## 《運用経過》

### 【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】



第9期末の1口当たり純資産価格:

1.1663豪ドル

1口当たり償還価格:

1.2290豪ドル

第10期中の1口当たり分配金合計額:

該当事項はありません。

騰落率:

5.38%

(注1) ファンドは分配を行わない方針であるため、課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を記載していません。以下同じです。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ファンドにベンチマークは設定されていません。

### ■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

ファンドの投資対象である9.5年豪ドル建てゼロ・クーポン債(以下「ゼロ・クーポン債」といいます。)の価格は、額面の97%を若干下回ったところで前期を終え、2018年6月30日に額面で償還されました。また、同じくファンドの投資対象である9.5年豪ドル建てパフォーマンス・リンク債(以下「パフォーマンス・リンク債」といいます。)の価格は、名目元本の18%を若干上回って前期を終え、2018年6月30日に名目元本の約17.5%で償還されました。

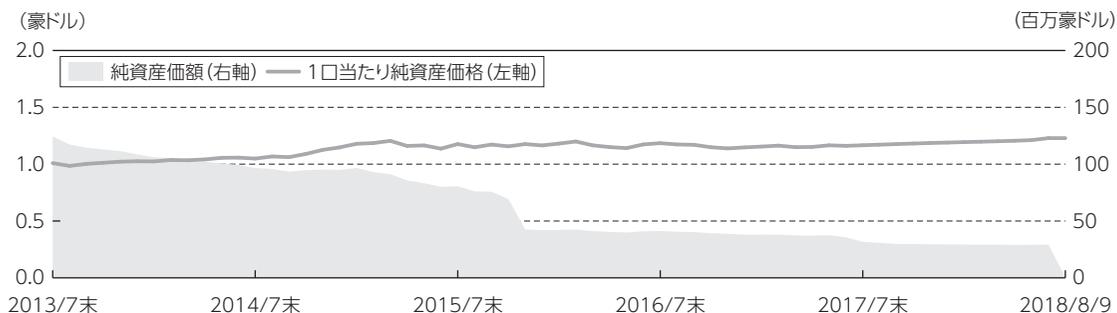
## 【費用の明細】

項目	項目の概要	
管理報酬	報酬対象額(募集価格である1豪ドルに計算の日の発行済受益証券口数を乗じた金額をいいます。以下同じです。)の1億豪ドルに相当する部分までについて年率0.3%(最低年間報酬を2万豪ドルとします。)、1億豪ドルを超える部分について年率0.1%	管理報酬は、信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
受託報酬および受託事務代行報酬	報酬対象額の年率0.1%(最低四半期報酬5,000豪ドル)	受託会社および受託事務代行会社に対する報酬は、信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社および受託事務代行会社に支払われます。
代行協会員報酬	報酬対象額の年率0.1%	代行協会員報酬は、受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
販売報酬	報酬対象額の年率0.4%	販売報酬は、投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、日本における販売会社に支払われます。
その他の費用(当期)	—	弁護士、税理士および監査人の報酬および費用(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等)、証券取引に関するブローカー報酬ならびに副保管受託銀行の報酬および費用等として支払われます。

(注1)各報酬については、有価証券報告書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。なお、ファンドの終了日である当期末における財務書類上の純資産価額は0豪ドルであることから、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率は表示していません。

(注2)各項目の費用は、ファンドが組み入れていたゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債の費用を含みません。

## 【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】



	第5期末 2013年7月末日	第6期末 2014年7月末日	第7期末 2015年7月末日	第8期末 2016年7月末日	第9期末 2017年7月末日	第10期末 2018年8月9日
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	1.0091	1.0491	1.1767	1.1845	1.1663	1.2290
騰落率 (%)	-0.91	3.96	12.16	0.66	-1.54	5.38
純資産価額 (千豪ドル)	124,453	96,586	80,582	41,211	31,633	762

(注1) 上記の第5期末から第9期末までの1口当たり純資産価格および純資産価額は、ファンドの定められた存続期間全体にわたる受託報酬、監査費用およびその他の運用費用に対する準備金を含むものであり、これらの費用を発生時に費用計上している財務書類の数値とは異なる場合があります。

(注2) 上記の表における第10期末の1口当たり純資産価格の欄には、1口当たり償還価格を記載しています。

(注3) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

## 【投資環境について】

ファンドは、その資産の大半をゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債に投資していました。

管理会社は、ファンドの設定日(2008年12月12日)の後に算定される純資産価額の一部をゼロ・クーポン債に投資することにより、最終買戻日まで受益証券を保有する受益者のために豪ドルによる元本確保の達成を目指していました。

また、パフォーマンス・リンク債への投資により、MA WCM FFリミテッド(以下「投資先ファンド」といいます。)のパフォーマンスに対する投資機会を提供していましたが、2017年7月のボルカー・ルールの施行により、パフォーマンス・リンク債の投資先ファンドへのエクスポージャーは2017年6月30日付で終了しました。

## 【ポートフォリオについて】

ゼロ・クーポン債の価格は、額面の97%を若干下回ったところで前期を終え、2018年6月30日に額面で償還されました。パフォーマンス・リンク債の価格は、名目元本の18%を若干上回って前期を終え、2018年6月30日に名目元本の約17.5%で償還されました。受益証券1口当たり純資産価格は、前期を1.1663豪ドルで終え、今期は徐々に上昇し、1.2290豪ドルで償還されました。

## 【分配金について】

該当事項はありません。

## 《お知らせ》

### ● ファンドの終了

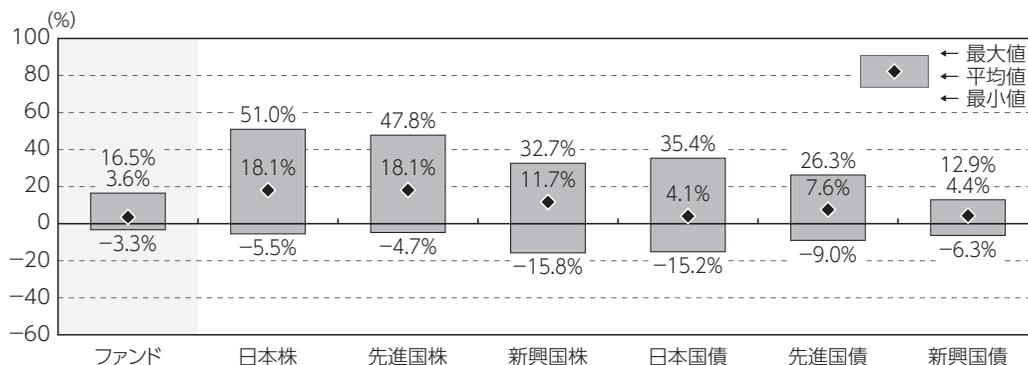
ファンドは、設定時からの予定どおり、2018年7月2日を最終買戻日として、同年8月9日に終了しました。償還金は、日本における販売会社を通じて2018年9月7日に受益者のみなさまにお支払いいたしました。

## 《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託
信託期間	ファンドは、2008年12月12日に運用を開始し、2018年8月9日に終了しました。
運用方針	ファンドの投資目的は、最終買戻日における受益証券一口当たり純資産価格が募集価格以上となることを確保しつつ、中期的にキャピタル・ゲインを追求することでした。なお、2017年7月のボルカー・ルールの実行により、2017年6月30日付で、パフォーマンス・リンク債の投資先ファンドへのエクスポージャーは終了し、さらなるキャピタル・ゲインの機会はなくなりました。
主要投資対象	シグナム・モメンタム・リミテッド(Signum Momentum Limited)により発行されるゼロ・クーポン債およびゴールドマン・サックス・フィナンシャル・プロダクツIリミテッド(Goldman Sachs Financial Products I Limited)により発行されるパフォーマンス・リンク債
ファンドの運用方法	管理会社は、受益証券の発行手取金の(ファンドの設立および受益証券の募集に関連する費用ならびにファンドの資産から支払われるその他の手数料および費用のための準備金を控除した後の)全額を、ゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債に投資することにより、投資目的を達成することを目指して運用されました。管理会社は、ゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債を同数量で購入しました。
分配方針	ファンドは、受益者への分配を行わない方針でした。

(参考情報)

● ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所が作成

※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※上記は2013年8月から2018年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、ファンドについては、2018年7月末日付の1口当たり純資産価格が算出されなかったため、2018年7月末における直近1年間の騰落率に代えて、2017年8月1日から2018年8月9日までの期間の騰落率を用いています。

※このグラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

\* 各資産クラスの指数

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSA1指数 (配当込) (豪ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (豪ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (豪ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (豪ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド

※日本株および新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより豪ドル換算しています。

## 《ファンドデータ》

## 【ファンドの組入資産の内容】

当期末現在、有価証券等の組入れはありません。

## 【純資産等】

第10期末	
純資産価額	762,035.12豪ドル
発行済口数	620,000口
1口当たり償還価格	1.2290豪ドル

(単位:口)

第10期中		
販売口数	買戻口数	発行済口数
0 (0)	26,500,000 (26,500,000)	620,000 (620,000)

(注1) ( )の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

(注2) 第10期中の買戻口数および第10期末の発行済口数は、ファンドの終了日における償還前の受益証券買戻口数および受益証券発行済口数であり、償還後の口数を記載した財務書類の数値とは異なります。